

第2回次期総合振興計画（区の将来像）に係る北区検討懇話会

次 第

日 時 平成31年1月21日（月）
午前 9時30分から
場 所 北区役所 2階 B会議室

1 開会

2 意見交換

(1) 北区の将来像改定素案たたき台について

3 閉会

【当日配付資料】

- ・ 次第
- ・ 委員名簿
- ・ 席次表

【事前配布資料】

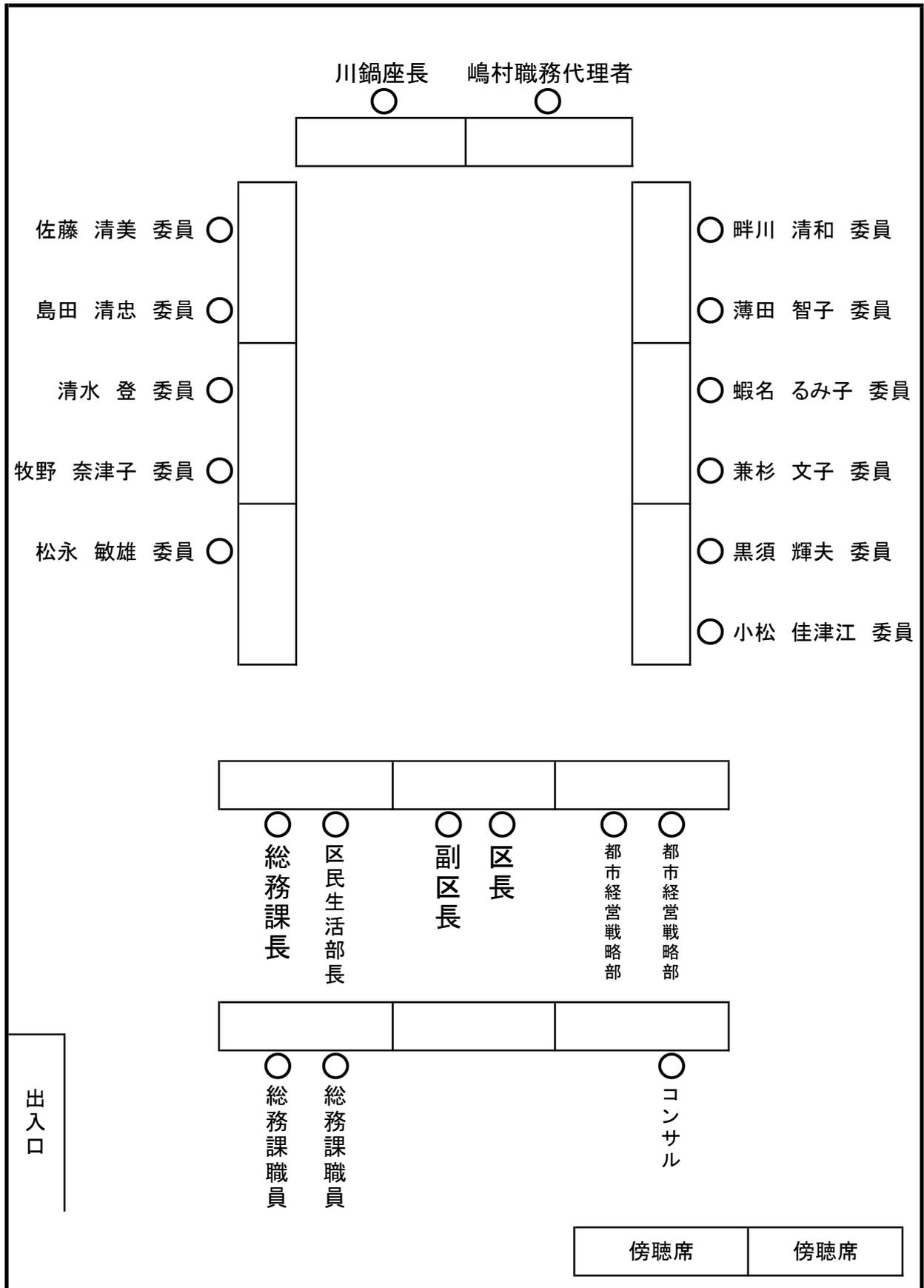
- ・ 資料1 第1回北区検討懇話会と市民ワークショップにおける主なご意見
- ・ 資料2 北区の将来像改定素案たたき台

次期総合振興計画（区の将来像）に係る北区検討懇話会 委員名簿

（氏名 五十音順）

No.	団体名	役職	(フリガナ) 氏 名
1	北区スポーツ振興会	会 長	アゼカワ キヨカズ 畔川 清和
2	大宮警察署少年非行防止ボランティア連絡会	委 員	ウスダ トモコ 薄田 智子
3	青少年育成さいたま市民会議 北区連絡会	常任理事	エビナ ルミコ 蝦名 るみ子
4	さいたま商工会議所 商工振興委員会 北区商工振興委員会	委 員	カネスギ フミコ 兼杉 文子
5	宮原地区自治会連合会	副会長	カワナベ サカエ 川鍋 栄
6	大宮盆栽協同組合	副理事	クロス テルオ 黒須 輝夫
7	さいたま市交通安全保護者の会（母の会） 北支部	支部長	コマツ カズエ 小松 佳津江
8	北区民生委員・児童委員協議会	会 長	サカイ コズエ 酒井 こず江
9	花いっぱい運動推進会	会 員	サウ キヨミ 佐藤 清美
10	大砂土地区自治会連合会	会計監査	シマダ キヨタダ 島田 清忠
11	大砂土地区社会福祉協議会	会 長	シムムラ ユタカ 嶋村 豊
12	日進地区自治会連合会	副会長	シズ ノボル 清水 登
13	スポーツ推進委員連絡協議会 北区支部	支部長	マキノ ナツコ 牧野 奈津子
14	植竹地区自治会連合会	副会長	マツナガ トシオ 松永 敏雄
15	さいたま市PTA協議会 北区連合会	会 長	ワタナベ テツヤ 渡邊 哲也

次期総合振興計画(区の将来像)に係る北区検討懇話会 席 次



第 1 回北区検討懇話会と市民ワークショップにおける主なご意見

- ※黒字は区検討懇話会、赤字は市民ワークショップからの主な意見。
- ※「まちづくりのポイント」、「将来像」、「その他のご意見（特に特定するポイントがない場合など）」の視点で分類した。
- ※網掛けは、「区の将来像たたき台（案）」（資料 2）作成の際、特に留意した意見。
- ※「まちづくりのポイント」に関する主な意見は、現行の後期基本計画の該当する「ポイントの説明書き」で分類した。（資料 2 の「（）」の番号を参照）
- また、意見が複数の説明書きに該当する場合は、【 】で該当する説明書きの番号を記載。
- 【例】【1-1・4】は、「まちづくりのポイント 1」の「説明書き(1)と(4)」にそれぞれ該当。

【 I 】 北区における「課題」、「将来への期待」、「まちづくりのポイント」に関するご意見

1 安全で安心して元気に暮らせるまちをつくる

(1) 防災・防犯・事故防止に取り組む安全・安心なまちづくり

- 1 防犯のことを考えてほしい。
- 2 さいたま市の特徴は水害が少ないことではないか。
- 3 大宮警察署が移転したため不便であり、分署などが検討できないか。
- 4 自然災害による被害が少ない。
- 5 小中学生向けの防犯強化。

(2) 子育て環境の充実、健康づくりへの支援、地域における支え合いなどによる、子どもから高齢者まで、誰もが心身ともに健康で元気に暮らせるまちづくり

- 1 高齢者サロン、子どもサロンを社協で開催してはどうか。
- 2 イキイキ健康体操で生き甲斐にもなる。
- 3 旧メディカルセンター近くに住んでいた。今は彩の国メディカルセンターが土呂に開所して便利になった。
- 4 北部医療センターも診療科が増えよかった。安心である。
- 5 子育ての保育園は少ない。
- 6 子育て、健康づくり、支え合いなどは重要なので、まとめて書くより書き分けた方がよい。
- 7 北区 4 地区の中で日進には児童センターがない。子どもは重要。
- 8 子育て環境が良い（病院がある）。

2 良好な住環境と円滑な交通環境をつくる

(1) 住宅、工場、農地及び自然環境との調和や景観形成、生活に身近なインフラの整備などによる良好で快適な住みやすい環境づくり

- 1 北区の人口が流出しないような仕組みをつくっていききたい。幼稚園や病院へ行けることが重要。
- 2 草取りなど昔は皆で対応する文化があったが、今は行政任せになっている。地区別に皆が集まる仕組みが必要。
- 3 住環境は優れた役割であり、皆の幸せ、繋がり等のソフト面の施策（医療、安全安心、緑、交通等）を北区のイメージとすると分かりやすい。

(2) 公共交通の充実、道路の整備、道路や駅のバリアフリー化、自動車・自転車・歩行者の交通ルールの啓発と交通マナーの向上などによる安全で良好な交通環境づくり

- 1 相続により土地を売却する際に排水等の工事があり、多くの道路が凸凹になっている。自転車には不便でありバリアフリー化をしてほしい。
- 2 車と自転車と歩行者の間の当たり前の小さなルールをあえて啓発すべきでないか。
- 3 住・交通について、鉄道はよいが踏切が多い。9+11の20カ所ある。東西関係が分断されており立体交差にしてほしい。
- 4 観光地としてバリアフリー化も重要。
- 5 鉄道と川の分断を超える東西交通の充実をバス等のソフトで一体感をつくることが重要。
- 6 川越線は日進以西が単線。考えてほしい。
- 7 日進・宮原・東宮原・大宮に行くシャトルバスの運行。
- 8 人口増加にともなう駅の強化。

3 教育・文化の充実とコミュニティの活性化を図り、ふれあいのあるまちをつくる

(1) 学校と地域の結び付きの強化などによる、地域への愛着心の育成と子どもを地域全体で育てる風土づくり

- 1 現在実施している植竹小学校以外でも盆栽授業をしてはどうか。生命の大切さを学ぶよい機会となる。
- 2 中山道の宮原まつりでは中学生が参加している。よいこと。
- 3 日進餅つき踊りについては、新しい人を巻き込んだイベントの写真も必要。
- 4 北区は学校が開かれていた地域への密着度が高い。コミュニティスクールのモデル校となっている。

(2) 盆栽・漫画など固有の伝統文化の育成・継承とともに、新たな地域資源を発掘し、国内外への情報発信とこれらを生かしたまちづくり

- 1 Bonsai は世界で通じるので、外国人等に対応できるボランティアが増えるとよい。
【3-2、5-2】

- 2 小学校の盆栽教室も開催している。年1回の市民盆栽まつりでは小学生が展示している(200点)。
 - 3 大宮公園からの導線を盆栽、漫画などをテーマに商店街も含めて観光化できないか。例えば、駅で盆栽や漫画をアピール。【3-2、5-1】
 - 4 行政として菜の花をビジュアルでアピールすべき。
 - 5 北区の人は北区の特徴が分かるかという疑問がある。10区にはそれぞれ根付いたものがあり、それぞれが機能を分担しているはず。
- 6 文化・伝統・歴史の価値認識(盆栽村)。**

(3) スポーツ・レクリエーションや、様々な生涯学習のための環境づくり

- 1 「子育てと高齢者」とあるが、20~30代の女性がスポーツをしていない。
 - 2 子どもがのびのび遊べる環境が必要。
 - 3 北区には体育館がない。そこに多様な機能をワンコインで備え、家から出かける機会を作ることが重要。
 - 4 64~65年住んでいる。子どもの遊び場の確保が必要。
- 5 公園等の整備。**

(4) 古くから住んでいる住民と新しい住民の交流や世代間交流、コミュニティ同士の交流など多様な交流が盛んなまちづくり

- 1 相続で緑が切り売りされている中でどのようにコミュニケーションを深めるかというわけではないか。
 - 2 新旧交流について表記の工夫が必要。子育て世代と高齢世代など交流がしやすいようにすべき。
 - 3 若い世代と高齢世代の交流のまちづくりとしてはどうか。
 - 4 子どもと高齢者の間の若者、現役が抜けている。
 - 5 まちづくりは鉄道と川で分断されている。これを繋げることが重要。
- 6 コミュニティの機会の充実。**

(5) 地域活動への住民の参加促進と行政の支援による元気な地域づくり

- 1 区民まつり、文化まつりは北区ではどちらも開催され、年々盛り上がっている。

4 自然環境の豊かなまちをつくる

(1) 市民の森、三貫清水、北区の花「菜の花」や、盆栽町に代表される街なかの緑など豊かで心安らぐ緑地と、鴨川・芝川など水辺環境とのつながりによる、潤いのあるまちづくり

- 1 市民の森(見沼田圃)は素晴らしい。
- 2 北区の花を一番目にすべき。
- 3 緑豊かな所と市街地がある。

(2) 水と緑との共生に向けた、環境保全のための活動の充実と意識づくり

- 1 70年経つが、元々は住宅もなく田圃だった。北区では昔は川がきれいで魚もいた。川の整備をしてほしい。
- 2 ポイント4の自然について、台風の際に桜が倒れたが盆栽の街としてPRする際にも桜は重要なので整備を続けてほしい。
- 3 盆栽についても相続で緑がなくなっていく。農業と同じような仕組みを考えてほしい。
- 4 保存林制度で盆栽も補助金がもらえるのではないかな。

5 産業の活性化を図り、働きやすい環境をつくる

(1) 地域資源を生かし、地域住民のニーズに密着した、人が集まり楽しく過ごせる活力ある商店街づくり

- 1 大宮公園からの導線を盆栽、漫画などをテーマに商店街も含めて観光化できないか。例えば、駅で盆栽や漫画をアピール。【3-2、5-1】
- 2 プラザノースを中心に商業施設が充実している。
- 3 駅周辺、個人商店の活気が少ない。
- 4 緑や歴史伝統を愛でる文化風土の醸成・活性化。
- 5 ショッピングモールを中心とした他地区からの集客。
- 6 商店街の充実、イベント実施。

(2) 盆栽や漫画などの地域資源を活用した、多くの人を訪れる観光のまちづくり

- 1 2017年に世界盆栽大会が開催され外国人が5~6千人、一般客が4万人の来場となった。
- 2 Bonsaiは世界で通じるので、外国人等に対応できるボランティアが増えるとよい。【3-2、5-2】
- 3 さいたま市の特徴に応じて、お土産が必要。サッカーや盆栽などではないか。
- 4 駅中心に素晴らしい街になった。盆栽、まんが、桜、プラザノース、菜の花がある。残念なのは、いいところを活かしきれていないところ。
- 5 産業については、盆栽に加えて、氷川神社とセットで人を呼び込んではどうか。
- 6 鉄道博物館は10年を経て来場者が減少傾向にあった中、1棟増設して人気回復している。北区の宣伝にも活用すべき。
- 7 外国人が観光に来る（盆栽町）。

(3) 地域産業の活性化と、事業者との連携による若者や女性などが働きやすい環境づくり

- 1 産業・働き方については、IT、AI、データへの切り換えによる新たなステージの10年間について若者を巻き込んだ形とすべき。

【Ⅱ】「北区の将来像」の見直しに関するご意見

- 1 住んでいてよかったとのアンケートがあるが、子どもが転出しても誇れるまちづくりが重要。
- 2 冒頭のキャッチフレーズの「住みたいまちづくり」ではなく、これから何をするかという点を示すべき。
- 3 北区の将来像については基本計画の通りに進めることでよい。
- 4 基本計画の実現が重要。
- 5 北区にはよくなった点とこれからの点がある。
- 6 北区（帰宅）なので、家庭に寄り添った絆、ソフト面の取組を意識したキャッチフレーズが重要。

【Ⅲ】その他のご意見（特に特定するポイントがない場合など）

- 1 50年以上住んでいるが、交通網、ショッピングモール、教育などが著しく進歩した。
- 2 地域イベントが少なく、名所名物がない。しかしながら地域としては十分に合格点だと思う。
- 3 50年以上住んでいる。街なかに住みながら仕事をしている。
- 4 盆栽に45～50年関わってきた。大宮盆栽組合が設立されて90年余り。
- 5 大宮盆栽美術館は8年経つが大会後国際的になった。
- 6 バス停等での鳥の糞をなんとかしてほしい。
- 7 大宮区が東日本における交通の要衝であり、北区はその隣という位置づけ。
- 8 鉄道博物館は半分北区。一方、シャトル駅にトイレがない。
- 9 地域自治会の高齢化。
- 10 教育の向上や学習環境を作る。

「北区の将来像改定素案たたき台」（後期基本計画→次期総合振興計画） ※変更箇所は赤字

	後期基本計画	次期総合振興計画
将来像	<p>私が住みたいまちづくり 市民参加で日々創造 —「ちょうどよいまち」から「もっとよい北区」—</p> <p>まちづくりとは、日々、より良いものを創り続ける持続的なものです。住民、地域団体、事業者、行政など各主体が互いに協力して、豊かな自然と快適な生活環境の調和を図り、盆栽をはじめとする地域資源を生かしつつ、北区の魅力あるまちづくりを進めます。</p>	<p>私が誇れるまち 市民参加で日々創造 —住み続けたいまち もっとよいまち 北区—</p> <p>住民、地域団体、事業者、行政など各主体が互いに協力して、豊かな自然と快適な生活環境の調和を図り、盆栽をはじめとする地域資源を生かしつつ、区民が誇れる魅力あるまちを日々創造します。</p>
まちづくりのポイント	<p>1 安全で安心して元気に暮らせるまちをつくる (1)防災・防犯・事故防止に取り組む安全・安心なまちづくり (2)子育て環境の充実、健康づくりへの支援、地域における支え合いなどによる、子どもから高齢者まで、誰もが心身ともに健康で元気に暮らせるまちづくり</p> <p>2 良好な住環境と円滑な交通環境をつくる (1)住宅、工場、農地及び自然環境との調和や景観形成、生活に身近なインフラの整備などによる良好で快適な住みやすい環境づくり (2)公共交通の充実、道路の整備、道路や駅のバリアフリー化、自動車・自転車・歩行者の交通ルールの啓発と交通マナーの向上などによる安全で良好な交通環境づくり</p> <p>3 教育・文化の充実とコミュニティの活性化を図り、ふれあいのあるまちをつくる (1)学校と地域の結びつきの強化などによる、地域への愛着心の育成と子どもを地域全体で育てる風土づくり (2)盆栽・漫画など固有の伝統文化の育成・継承とともに、新たな地域資源を発掘し、国内外への情報発信とこれらを活かしたまちづくり (3)スポーツ・レクリエーションや、様々な生涯学習のための環境づくり (4)古くから住んでいる住民と新しい住民の交流や世代間交流、コミュニティ同士の交流など多様な交流が盛んなまちづくり (5)地域活動への住民の参加促進と行政による支援の充実、地域づくり</p> <p>4 自然環境の豊かなまちをつくる (1)市民の森、三貫清水、北区の花「菜の花」や、盆栽町に代表される街なかの緑など豊かで心安らぐ緑地と、鴨川・芝川など水辺環境とのつながりによる、潤いのあるまちづくり (2)水と緑との共生に向けた、環境保全のための活動の充実と意識づくり</p> <p>5 産業の活性化を図り、働きやすい環境をつくる (1)地域資源を生かし、地域住民のニーズに密着した、人が集まり楽しく過ごせる活力ある商店街づくり (2)盆栽や漫画などの地域資源を活用した、多くの人を訪れる観光のまちづくり (3)地域産業の活性化と、事業者との連携による若者や女性などが働きやすい環境づくり</p>	<p>1 安全で安心して元気に暮らせるまちをつくる (1)防災・防犯・事故防止に取り組む安全・安心なまちづくり (2)子育て環境の充実による、子どもが安心して健康で元気に暮らせるまちづくり (3)健康づくりへの支援、地域における支え合いなどによる、誰もが心身ともに健康で元気に暮らせるまちづくり</p> <p>2 良好な住環境と円滑な交通環境をつくる (1)住宅、工場、農地及び自然環境との調和や景観形成、生活に身近なインフラの整備などによる良好で快適な住みやすい環境づくり (2)公共交通の充実、道路の整備などによる利便性の向上や、道路や駅のバリアフリー化、自動車・自転車・歩行者の交通ルールの啓発と交通マナーの向上などによる安全で良好な交通環境づくり</p> <p>3 教育・文化の充実とコミュニティの活性化を図り、ふれあいのあるまちをつくる (1)学校と地域の結びつきの強化などによる、地域への愛着心の育成と子どもを地域全体で育てる風土づくり (2)盆栽・漫画など固有の伝統文化の育成・継承とともに、新たな地域資源を発掘し、国内外への情報発信とこれらを活かしたまちづくり (3)スポーツ・レクリエーションや、様々な生涯学習のための環境づくり (4) 若い世代、子育て世代、高齢世代などの交流、住民間交流、コミュニティ同士の交流など多様な交流が盛んなまちづくり (5)地域活動への住民の参加促進と行政による支援の充実、地域づくり (写真の変更「区民まつり」)</p> <p>4 自然環境の豊かなまちをつくる (1)北区の花「菜の花」、市民の森、三貫清水や、盆栽町に代表される街なかの緑など豊かで心安らぐ緑地と、鴨川・芝川など水辺環境とのつながりによる、潤いのあるまちづくり (2)水と緑との共生に向けた、環境保全のための活動の充実と意識づくり</p> <p>5 産業の活性化を図り、働きやすい環境をつくる (1)地域資源を生かし、地域住民のニーズに密着した、人が集まり楽しく過ごせる活力ある商店街づくり (2)盆栽・漫画・鉄道などの地域資源を活用した、多くの人を訪れる観光のまちづくり (3)地域産業の活性化と、事業者との連携による若者や女性などが働きやすい環境づくり</p>